

上海虹橋ビジネスエリア（上海虹橋商務区）の紹介

岡山県上海事務所 専任スタッフ 馬小琳

(日中経済貿易センター上海事務所)

虹橋エリアの概況

上海市の西部に位置し、江蘇省と浙江省に隣接する虹橋エリアは、長江デルタ地域（長江河口の三角州で上海市、江蘇省南部、浙江省北部を含む）の重要なビジネス拠点となっています。

上海虹橋商務区

虹橋エリアの開発は、上海市商務委員会により「上海虹橋商務区」として計画策定された重要な戦略プロジェクトです。虹橋商務区の総面積は約 86 万 km^2 で、上海市の長寧区、閔行区、青浦区及び嘉定区の4つの行政区を含み、中心となる核心区にはオフィスや商業施設等が建設されています。

上海市の新たな発展のために、虹橋商務区は開発されました。上海虹橋商務区の年間生産額は、2015 年末に 470 億元になると予測されています。2020 年には、長寧区の東（東虹橋）、青浦区の西（西虹橋）、嘉定区の北（北虹橋）、閔行区の南（南虹橋）の虹橋エリア全体での成長を目指しています。また、虹橋エリアは、国内外の企業の重要な投資地域となっています。すでに約 500 企業もの進出と 1 兆 7,900 億元の投資があり、核心区では 224 社が進出、内本社として 8 社が進出しています。

世界最大級の交通インフラとコンベンション施設

同エリアでは、上海虹橋空港の新ターミナルや高速鉄道などが新たに建設され、世界最大級の総合交通ターミナルが整備されています。飛行機や高速鉄道、バス、地下鉄を利用する 1 日当たりの利用者数は約 140 万人で、年間 4 億人を超える利用者の交通アクセス場所となっています。さらに、大手デベロッパーが開発した住宅やオフィスビル、五つ星ホテル、ショッピングセンターなどの施設も整備されています。

「二つの中心」（国際金融と国際物流の中心）を目指す上海市の成長戦略の重要拠点として、世界中から注目されている虹橋エリアには、世界有数の総合交通ターミナルに加えて、世界最大級のコンベンションセンター「中国博覧会会館総合体（CHINA EXPO COMPLEX）」があります。中国商務部と上海市による国家レベルのプロジェクト施設で、延べ床面積 147 万 m^2 、地上建築面積 127 万 m^2 、展示可能面積 50 万 m^2 （室内：40 万 m^2 、屋外 10 万 m^2 ）を誇り、商業施設やオフィス、ホテルも確保され、2015 年 6 月に全面運用を開始します。同施設は、虹橋エリアに人、物、情報、資金などを多く引き寄せるでしょう。

上海虹橋エリアは、最先端の交通システムを活かした貿易やコンベンション機能などにより都市機能が大きく強化され、今後、中国の伝説の地となっていくでしょう。

(2014 年 9 月)